

平成24年4月19日

防災まちづくりの事例報告

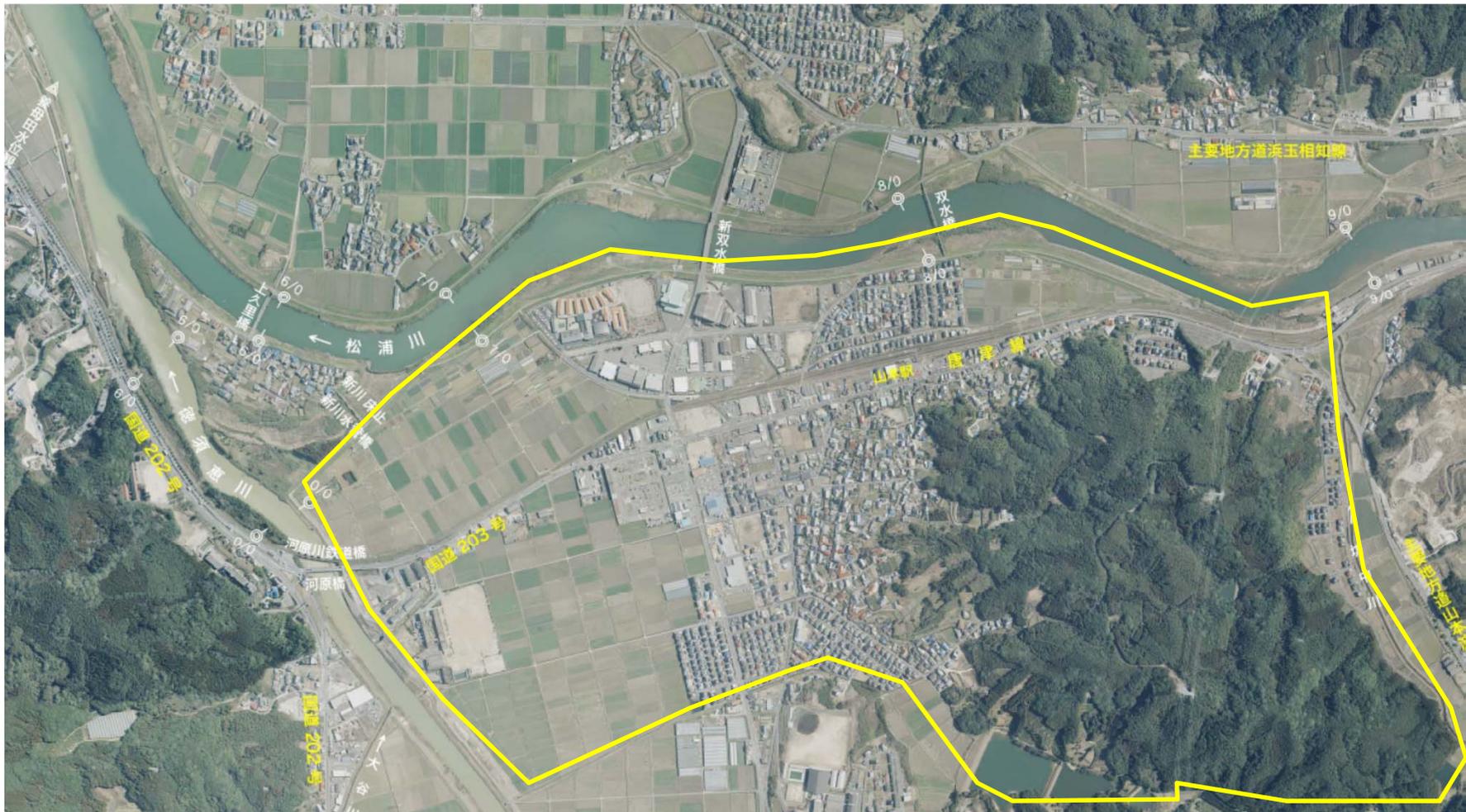
唐津市山本区自主防災会

前区長 峯 信廣

山本地区の概要

- 東西を山に囲まれ、松浦川と徳須恵川の合流点に位置する
- 唐津市の真ん中に位置する
- 昭和23、28年に洪水被害を経験

世帯数	885世帯
人口	2,800人



防災まちづくり検討地区への応募

平成18年2月25日 国交省武雄河川事務所に申込

応募理由

- ほとんどの人が昭和23年、28年の洪水被害を知らない
- 天変地異、何が起きるか予測不可能な状況下でいかに地域住民の生命・財産を守るか地区の長として考えておく必要がある
- 普段の危機管理が重要で、住民側もそれに対する情報、備えが必要

イ. 課題

新興住宅増、近隣などの付き合い疎遠(3分の2以上が新しい住民)

ロ. 検討内容

地域の交流が好ましくできる仕組みづくり(年1回夏祭り開催)

ハ. その他

防災に関する知識、意識の向上

防災委員会の開催(6回)

平成18年8月 防災まちづくり委員会立ち上げ

メンバー:区3役、評議員、消防団、長老等15名、唐津市防災課、
国交省武雄河川事務所、松浦川出張所

内容:他地区の取組事例紹介、マイ防災安心・安全マップ作成、
昭和28年6月水害時の聞き取り調査、水害マップ作成など

※完成マップについては公民館に掲示(パネル4枚)

平成19年5月20日 山本区防災計画書作成

記載内容:役員名簿、緊急連絡先、避難場所、病院・薬局・
木材、食料品・燃料・電気、整備・輸送、消防団

※昭和28年出水の資料集めに苦慮
図書館で当時の新聞記事収集

マイ防災マップの作成

H18. 12. 1 「マイ防災マップづくり」



マイ防災マップの作成

H19. 2. 27 「S28. 6水害時の聞き取り調査」(災害マップ)



マイ防災マップの作成

マイ防災安心・安全マップ

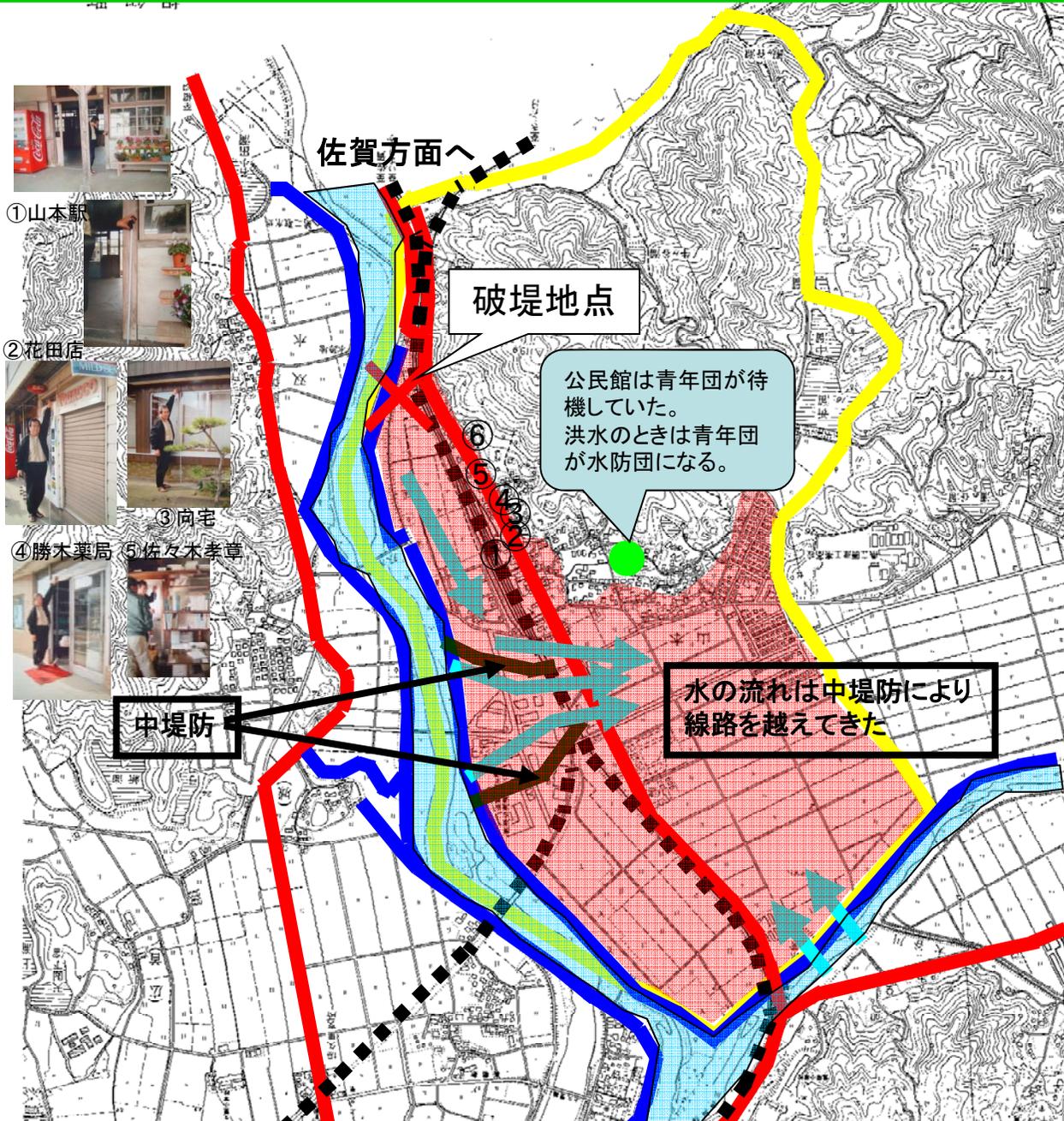
住民の防災意識の共有のため



マイ防災マップの作成

昭和28年6月出水 水害聞き取り調査マップ

- ・2階のある家へ避難
- ・浸水は2日程度
- ・家、道路の掃除が大変だった



防災・減災フォーラムへの参加(1)

防災・減災フォーラム2007in佐賀(H19. 11. 12)

防災まちづくりの活動事例報告



防災・減災フォーラムへの参加(2)

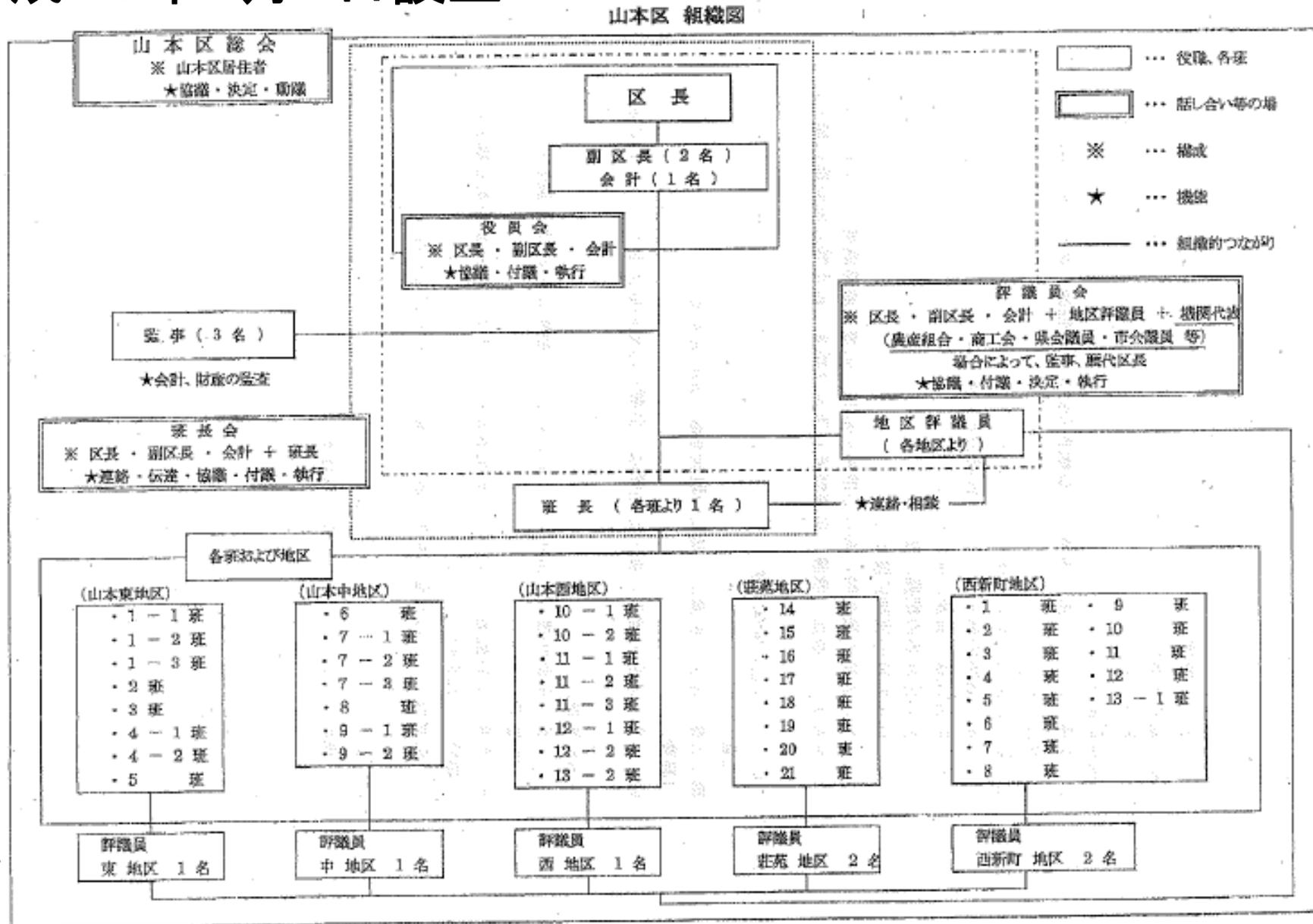
防災・減災フォーラムin唐津(H21. 2. 8)

防災まちづくりの活動事例報告及びパネルディスカッション



地域防災組織の設立

平成20年4月1日設立



平成20年度嘉瀬川・六角川・松浦川水防演習

水防演習のサテライト会場として避難訓練実施

○日時及び場所

日 時	平成20年5月6日(水)	午前8時30分開始
場 所	唐津市山本地区一帯	
目 的	水害時を想定した避難訓練(避難誘導・防災知識の習得)	

○避難訓練出席者(総勢250名)

山本地区住民、山本地区消防団、唐津市消防本部、唐津市、唐津土木事務所
国土交通省 武雄河川事務所(含む松浦川出張所)

○訓練内容

- 8:30 洪水情報の連絡(唐津市→山本駐在員)自主防災組織 本部設置
- 8:40 自主避難判断
- 8:45 自主避難開始の連絡(防災放送)避難所開設
- 8:50 避難開始避難所到着(各地区毎に点呼、役員へ報告)
- 9:30 自主避難完了。避難完了報告(山本駐在員→唐津市)
- 9:40 講習会開始(唐津市消防本部)
「身近なものを使った応急救護方法について」
- 10:30 閉会式避難訓練終了

平成20年度嘉瀬川・六角川・松浦川水防演習

山本区避難訓練経路図



平成20年度嘉瀬川・六角川・松浦川水防演習



事例報告

平成19年8月頃

- 17時頃 小学生5名が行方不明
その後 消防格納庫に配備
唐津市消防本部、鬼塚分団消防団、警察、救急車
小学校待機
先生、保護者
- 21時頃 区長へ連絡あり
翌5時頃 万徳寺前共同風呂にて無事発見

反省点

- 連絡体制の確認
- 緊急時に備え、連絡網・筆記具など常時持ち運べるようにしておく
- 対策本部は1箇所連携が必要

河川情報モニター

平成20年6月1日～現在

(役割)

①川に関する情報の監視・評価

②川に関する基礎情報の普及

(活動状況)

- ・ 河川情報に関するモニタリング結果を事務所へ報告。
- ・ 鬼塚小、中学校で防災まちづくりについて教職員に説明
- ・ 地区住民に防災まちづくりパンフレットを配布



平成23年度 第2回 河川・ダム情報モニター
現地会議の様子 [平成24年1月30日] 16

おわりに

- 東日本大震災のような大規模災害に対する心構えは、必ずしも十分ではない
- 東日本大震災は対岸の火事ではない
- 災害に対する意識・知識・行動のギャップを解消し、防災・減災、そして災害に備える必要あり
- 自分たちの地区にあったものを作り上げることが大事
- 危機管理を常に考えておくことが必要不可欠